

高校生国際協力体験プログラム・夏の陣

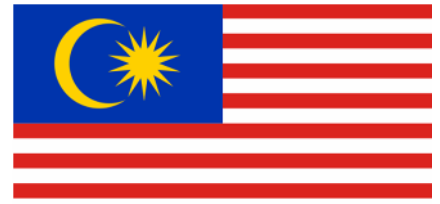
# なりきり 青年海外協力隊

マレーシア編



## 【マレーシア概要】

東南アジアのマレー半島南部とボルネオ島北部を領域とする。タイ、インドネシア、ブルネイと陸上の国境線で接しており、シンガポール、フィリピンと海を隔てて近接する。



マレー半島側 11 州、ボルネオ島北部の 2 州（サバ、サラワク）と 3 か所の連邦地域（クアラ・ルンプール、ラブアン、プトラジャヤ）から構成される。首都はクアラ・ルンプール。

国土面積はマレー半島部分とボルネオ島部分を合わせ、33 万 338 平方キロメートル、人口は約 2840 万人（日本の面積の 9 割弱の広さの土地に、日本の約 20% の人口が住んでいることになる）。国土の約 60% が熱帯雨林で覆われているが、近年ではその多くがパーム油の原料となるオイルパームのプランテーションへと変わりつつある。

主にマレー系（約 66%：注：マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む）・中国系（約 25%）・インド系（約 8%）で構成される多民族国家であり、マレー語（国語）、中国語、タミール語、英語と多言語が日常的に使用されているほか、それぞれの民族が持つ宗教、生活習慣の融合が生んだ独特な文化が特徴である。近年急激な経済発展を遂げており、2020 年に先進国入りするとの目標「ワワサン（マレー語で vision の意）2020」を掲げた。

○日本との関わり…電化製品（パソコン等）、LNG（液化天然ガス）、パーム油を日本に向けて輸出しているほか、日系企業も多数進出している。

マハティール元首相が提唱した「東方政策（ルック・イースト政策）※」、貿易・技術協力などを通じた緊密な経済関係、活発な文化・留学生交流に支えられ、二国間関係は良好。青年海外協力隊の派遣は 1965 年から開始しており、今日までに約 1500 人のボランティアが派遣されてきた。

※東方政策（ルック・イースト政策）：1981 年 7 月 16 日に マレーシアの第 4 代首相に就任したマハティールが同年の 12 月 15 日に提言した政策。日本・韓国をモデルとして、工業化と経済発展を目指そうとしたもの。

## 【ブミプトラ政策】

Bumiputra『土地の子』と言う意味。中国系・インド系等国外から移住してきた民族に対しての「本土人」の意。マレーシアがイギリスから独立した後、経済的に豊かな中国系と、マレー系の対立が進み、中国系によるシンガポールの建国（マレーシアからの分離独立）や 5 月 13 日事件に代表される民族対立が続いた。対立の原因が経済格差であったために、マレー系及び先住民を経済的に優遇する国策が施行された。この一連の政策を総称して「ブミプトラ政策」という。

具体的には、以下の 5 つの分野でのマレー系の優遇がなされている。

- 1 教育におけるマレー系優遇
- 2 就職におけるマレー系優遇
- 3 住居におけるマレー系優遇
- 4 銀行融資におけるマレー系優遇
- 5 会社経営上のマレー系優遇

### 【マレーシアの学校制度について】

小学校6年、中学校5年、大学2～5年というイギリス式が基本。義務教育は日本よりも2年多い11年間。その期間は無償で、小学校への進学率はほぼ100%。

- ・マレー系、中国系、インド系の3民族複合国家であるマレーシアには、それぞれの言語を使って授業を行う「マレー語系」、「中国語系」、「タミール語系」の小学校があるが、近年では、民族の枠をこえ学校を選べるようになった。

- ・中学校3年次が修了したとき国家試験があり、上位30%は進級を、それ以外の人々は就職を目指す。5年間の中学校教育が終了すると再び試験があり、大学進学について、留学できるか、国立大学に行けるか等がこの試験で決まる。そのため小学校から受験戦争が激しい。学校のカリキュラムは受験重視で、総合学習の時間のようなものは少ない。

### 【ペラ州概要】

マレーシア西海岸の北部に位置し、北部はクダ州、タイ(ヤラー県、ナラーティワート県)、南部はスランゴール州、東部はパハン州、クランタン州と接する。州都はイポー。マレーシア語で「ペラ」はすすの色である「銀」を意味し、この地域はスズ鉱床で有名なため、この名がつけられた。かつてスズ鉱業でペラ州の経済状態はうなぎ上りとなったが、スズ鉱業の衰退に伴い、現在の経済力は13州中8番目。スズ鉱山で好況となった際に中国から多くの人々が採掘のために移住、人口の約75パーセント以上を中国系が占める。中国系の広東人と客家人が多いため広東語が広く使われる。ペラ州は食で有名であり、とくに大きなカルスト地形をもつイポーの地勢で比較的硬水(高いアルカリ含有量)となる水により料理が美味しくなると言われる。

### 【配属先の町／町役場について】

**配属先の町：**人口約8万人の小さな町。かつてスズ採掘で財を築き、現在もビジネスで成功した中国系の住民が多く(住民の65%)、町の経済や政治に影響を与えている。国立大学1校、私立大学1校が町内にあるため、学生が多い。一方で首都クアラルンプールまで高速道路で2時間弱という便利のよさゆえに、若者は就職等で都心部に出ていきがち。JICAのゴミ減量プロジェクトのモデル都市の一つである。

**配属先町役場：**隊員の配属先。町の中心部からやや離れた場所にある。ブミプトラ政策のために職員の9割がマレー系だが、隊員の上司(公衆衛生課長)はこの役場唯一の中国系職員。この上司がJICAゴミ減量プロジェクトモデル都市に手を挙げ、協力隊の派遣を要請した。

モデル都市になったことをきっかけに、役場が町内100か所に3色の分別ボックス(古紙・ガラス・プラスチックの3種類)を設置したり、町内全学校を対象に環境教育プログラムを実施するなど取り組みを開始したが、ほとんど一時的なもので終わり、現在まで目に見えて効果が出ていない。

【参考：マレーシアの祝日】（活動の参考にしてください）

1/1(日) 正月

1/20(金)～1/25(水) 中国正月

2/5(日) ムハンマド生誕祭

### 3/中旬 学校休暇期間

5/1(火) メーデー

5/5(土) ウェサックデー（釈迦生誕日）

5/30(水) ～5/31(木) 収穫祭 サバ州、連邦領のみ

6/2(土) 国王誕生日

### 7月下旬～8/18まで 断食月間（イスラム教徒のみ）

8/19(日)～20(火) ハリラヤ・プアサ(断食明け祭り)

8/31(金) 独立記念日

9/16(日) マレーシアデー

10/26(金)～10/27(月) ハリラヤ・ハジ（メッカ巡礼祭り）

11/13(火) ディーバパリ(ヒンドゥー暦6月)

11/15(木) アワル・ムハラム(イスラム新年)

12/25(火) クリスマス

### 《環境用語集》

・3R(すりーあーる)：リデュース (REDUCE)・リユース (REUSE)・リサイクル (RECYCLE)の頭文字を取った環境配慮に関するキーワード。

★ 生活の中で、出るごみの量をなるべく少なくすることがリデュース (REDUCE)

★ 一度使ったものをごみにしないで何度も使うようにすることがリユース (REUSE)

★ 使い終わったものをもう一度資源にもどして製品を作ることがリサイクル (RECYCLE)

・コンポスト：古くからあったゴミの処理方法で、生ゴミを土等と混ぜ微生物の働きによって肥料のたい肥をつくる方法。